

損益状況<2行合算>

(単位:億円)

	2019年9月期		2018年9月期
		前中間期比	
経常収益	812	△24	836
コア業務粗利益	613	△26	640
資金利益	528	△23	552
役務取引等利益	80	△3	83
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	0	4
経費	430	△7	437
コア業務純益	183	△19	203
除く投信解約損益	169	△19	189
実質業務純益	221	27	193
与信用費用	51	45	5
株式等損益	4	△16	21
経常利益	177	△28	206
中間純利益	124	△31	155
連結自己資本比率	9.29%	△0.49%	9.78%
連結経常収益	906	△12	918
連結経常利益	174	△20	194
親会社株主に帰属する中間純利益	116	△23	139

【用語解説】

- ・コア業務粗利益・・・一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- ・資金利益・・・貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- ・役務取引等利益・・・送金、投資信託、保険の取扱手数料等。
- ・コア業務純益・・・一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。

コア業務粗利益は、貸出金利息および有価証券利息の減少を主因として資金利益が前中間期を23億円下回ったことにより、前中間期比26億円減少の613億円となりました。

コア業務純益は、経費が前中間期を7億円下回る430億円となったことから、前中間期比19億円減少の183億円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少に加え、与信用費用が前中間期を45億円上回る51億円となりましたが、国債等債券損益の増加により一部カバーし、前中間期比28億円減少の177億円となりました。中間純利益は、前中間期比31億円減少の124億円となりました。

連結自己資本比率は、9.29%となりました。

連結経常収益は前中間期比12億円減少の906億円、連結経常利益は前中間期比20億円減少の174億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比23億円減少の116億円となりました。

普通株式配当につきましては、期末一括配当1株当たり40.0円を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

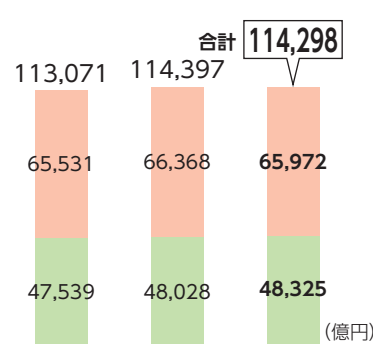
預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

預金(含む譲渡性預金)

11兆4,298億円

個人預金が増加し、前中間期末比1,227億円増加しました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

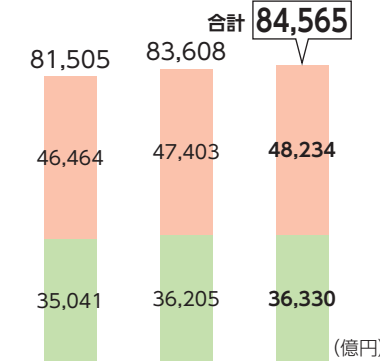
貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

貸出金

8兆4,565億円

個人ローン、地方公共団体等向け貸出の増加により、前中間期末比3,059億円増加しました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

自己資本比率<連結>

自己資本
自己資本比率

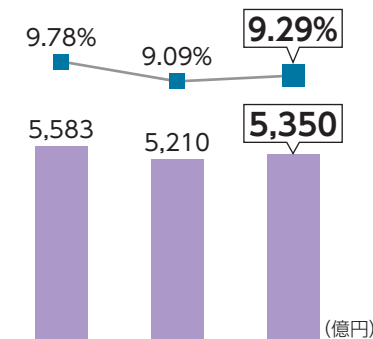
自己資本

5,350億円

自己資本比率

9.29%

利益による剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、2019年3月末比0.20ポイント上昇しました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

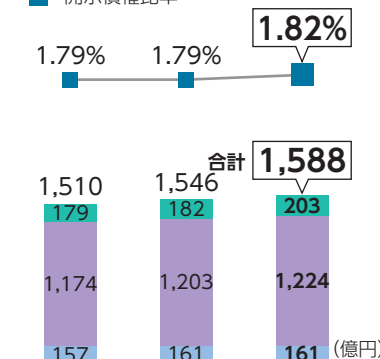
金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権

1,588億円

2019年3月末比41億円増加しました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

損益状況

(単位:億円)

	2019年9月期	前中間期比	2018年9月期
経常収益	447	△6	454
コア業務粗利益	333	△16	350
資金利益	277	△19	296
役務取引等利益	52	2	49
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	△0	4
経費	230	△4	235
コア業務純益	102	△11	114
除く投信解約損益	95	△8	104
実質業務純益	127	16	110
与信費用	42	43	△0
株式等損益	4	△9	13
経常利益	99	△27	126
中間純利益	65	△26	92
自己資本比率	8.92%	△0.29%	9.21%
連結経常収益	448	△6	454
連結経常利益	99	△27	126
親会社株主に帰属する中間純利益	66	△26	92

コア業務粗利益は、貸出金利息および有価証券利息の減少により、前中間期比16億円減少の333億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により一部カバーし、前中間期比11億円減少の102億円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少および与信費用の増加を国債等債券損益の増加等により一部カバーし、前中間期比27億円減少の99億円となりました。

中間純利益は、前中間期比26億円減少の65億円となりました。

連結経常収益は前中間期比6億円減少の448億円、連結経常利益は前中間期比27億円減少の99億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比26億円減少の66億円となりました。

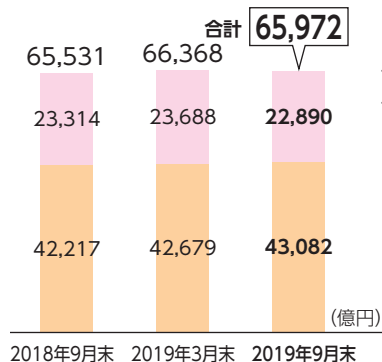
預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)

6兆5,972億円

個人預金の増加により、前中間期末比441億円増加の6兆5,972億円となりました。



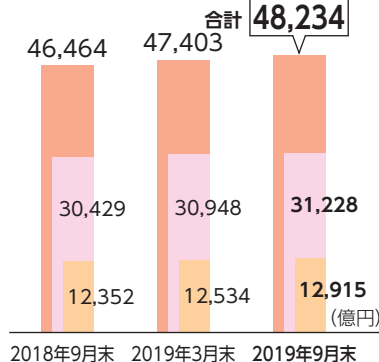
貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金

4兆8,234億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、貸出金は前中間期末比1,770億円増加の4兆8,234億円となりました。



自己資本比率

自己資本
自己資本比率

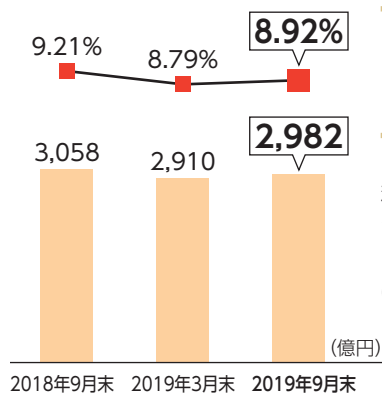
自己資本

2,982億円

自己資本比率

8.92%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2019年3月末比0.13ポイント上昇しました。



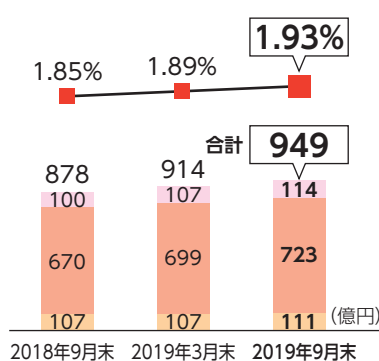
金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権

949億円

2019年3月末比35億円増加しました。



開示債権比率

1.93%

2019年3月末比0.04ポイント上昇しました。

損益状況

(単位:億円)

	2019年9月期	前中間期比	2018年9月期
経常収益	365	△17	382
コア業務粗利益	280	△10	290
資金利益	251	△4	256
役務取引等利益	28	△5	33
その他業務利益	0	0	0
経費	199	△2	201
コア業務純益	80	△7	88
除く投信解約損益	73	△10	84
実質業務純益	93	11	82
与信費用	8	2	6
株式等損益	0	△7	8
経常利益	78	△1	80
中間純利益	58	△5	63
自己資本比率	8.98%	△0.46%	9.44%
連結経常収益	370	△12	382
連結経常利益	80	7	72
親会社株主に帰属する中間純利益	58	3	54

コア業務粗利益は、資金利益および役務取引等利益の減少により、前中間期比10億円減少の280億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により一部カバーし、前中間期比7億円減少の80億円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少を国債等債券損益の増加等により一部カバーし、前中間期比1億円減少の78億円となりました。

中間純利益は、前中間期比5億円減少の58億円となりました。

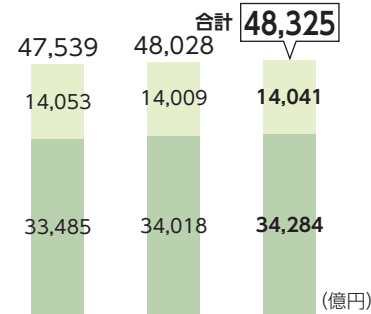
連結経常収益は前中間期比12億円減少の370億円、連結経常利益は前中間期比7億円増加の80億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比3億円増加の58億円となりました。

預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)
4兆8,325億円

個人預金の増加により、前中間期末比785億円増加の4兆8,325億円となりました。



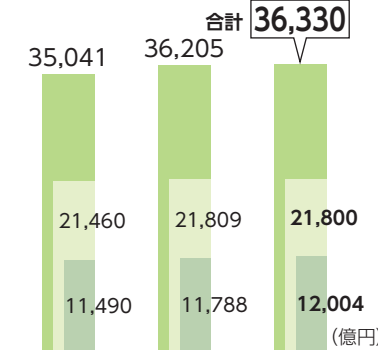
2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金
3兆6,330億円

個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、貸出金は前中間期末比1,289億円増加の3兆6,330億円となりました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

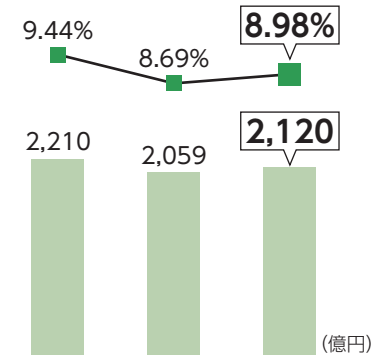
自己資本比率

自己資本
自己資本比率

自己資本
2,120億円

自己資本比率
8.98%

利益による剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、2019年3月末比0.29ポイント上昇しました。



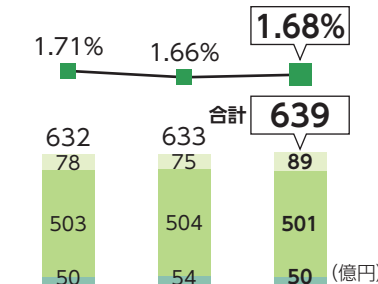
2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権
639億円

2019年3月末比6億円増加しました。



2018年9月末 2019年3月末 2019年9月末

開示債権比率
1.68%

2019年3月末比0.02ポイント上昇しました。